

## 第21回中米カリブ日本語弁論大会（仮訳）

2025年10月19日

於 ナショナル大学

JICA コスタリカ所長 吉田憲

在コスタリカ日本国大使館 特命全権大使 有吉 勝秀 様

ナショナル大学文学・言語科学学部長 マイラ・ロアイサ・  
ベロカル様

コスタリカ日本人会 会長 森克彦様

サンホセ日本人学校 校長 半山 章人 様

国際交流基金メキシコ日本文化センター 日本語専門家

國頭あさひ様

中米カリブ日本語教育ネットワーク 理事 ソフィア・アジェ  
ルデイス・ロドリゲス 様

ご列席の皆様

本日は、第21回中米カリブ日本語弁論大会の開催、誠に  
おめでとうございます。

日頃より、各国・各地域において日本語教育の発展にご尽力  
いただいている皆様に、心より敬意と感謝を申し上げます。  
また、JICA の日本語教育分野の協力隊員がこの大会に関わ

らせていただいていることを、大変ありがたく思っております。

本年 2025 年は、JICA 海外協力隊が世界に派遣されてから 60 周年という節目の年です。コスタリカにおける日本語教育分野においては、1977 年にコスタリカ大学へ初めての隊員が派遣され、1992 年からはナショナル大学にも継続的に隊員が派遣されてきました。

この長年にわたる取り組みは、先輩隊員たちの努力と、現地の皆様との信頼関係の積み重ねによって築かれてきたものです。私たちが今ここに立てているのは、そうした歴史の延長線上にあることを改めて実感しています。

2009 年には、コスタリカで「第 1 回中米カリブ日本語教育セミナー」が開催され、それを契機に「中米カリブ日本語教育ネットワーク」が設立されました。協力隊員もその立ち上げに重要な役割を果たしてきたと伺っております。

さらに、2022 年には「JICA 日本研究講座設立支援事業 (JICA チェア)」がコスタリカで始まり、日本の歴史や文化、開発経験を大学教育の中で共有する取り組みが進められています。日本語教育のみならず日本の歴史や文化への理解もさらに深まっています。

また、今年だけでも、サンホセ、サンタマリアデドタ、サルチ、サルセロ、サンラモン、ティララン等々各地で協力隊員が配属先と共に活動紹介や日本紹介イベントを開催し好評いただいているところです。

この弁論大会は、日本語学習者の意欲を高め、学習者同士の交流を促進する貴重な場です。参加された皆さんの熱意と日々の努力が、地域の日本語教育をさらに活性化させ、知日・親日派の輪を広げていくことを心より期待しております。

本日の大会が、皆様にとって実り多い経験となりますようお願いしております。

ご清聴、誠にありがとうございました。